

令和6年度 自己評価書

学校名	和歌山市立新南小学校
校長氏名	嶋田弘人
作成日	令和7年2月25日

1 教育目標

豊かな心をもち、主体的に生きる子どもを育成する

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	・県学習到達度調査で正答率が県平均を上回る。 ・児童アンケート項目「毎日の勉強がわかる」で肯定的回答80%以上。	・児童アンケート項目「学校が楽しい」で肯定的回答90%以上。 ・いじめの解消率が100%になるよう努める。	・R5年度体力テストシャトルラン高学年(4,5,6年)平均のTスコア45.8を上回る。 ・児童アンケート項目「わたしは体育の時間が楽しい。」で肯定的回答90%以上。	・保護者アンケート項目「学校の様子をわかりやすく伝えていいる」で肯定的回答80%以上。
重点目標	○基礎基本の確実な定着 ◎子供主体の授業の推進 ○読書活動の推進 ○家庭学習の充実	○道徳教育・人権教育の充実 ◎いじめの未然防止・早期発見 ○互いのよさを認め合う仲間作りと集団活動の推進	◎体育の授業で体力向上の取組の推進 ○基本的生活習慣の確立 ○外遊びや運動に親しむことの奨励	◎家庭・地域との連携推進 ○情報の積極的な発信 ○地域資源の積極的活用の推進
取組の状況	・学校や家庭で音読練習を継続した。 ・2年以上は各学期(1年は3学期から)に漢字博士検定に取り組んだ。 ・読書タイム等で読書指導を行った。 ・川柳や短歌を作るとともに、四季毎に校内俳句コンクールを実施した。また、和歌山放送「わたしの作文」に取り組み、言語感覚を磨き、語彙を増やした。 ・各学級担任が研究授業を行い、教員個々の授業力向上につなげた。	・道徳や人権の授業の工夫改善に努め、各学級の人権教育実践について各学期末に交流会をもった。 ・いじめアンケートを学期に1回実施し、いじめの未然防止・早期対応に努めた。 ・認知したいじめについては、関係機関と連携を取った。 ・好ましい人間関係を築き、安心して学習に取り組めたりできる学級づくりを行った。	・体育科の授業の充実を図り、学習到達カードを活用するなどし運動への意欲を高め、体力の向上に努めた。 ・外遊びを奨励し、鬼ごっこやボール遊びなどに親しむ機会を大切にし、運動用具・器具等の環境整備に努めた。	・学校通信等のHP掲載や学年・学級通信を発行したり、懇談会等あらゆる機会を通して積極的に子供や学校・学級の様子を発信した。 ・2年生は校区探検で地域の商店や施設に出向いて学習した。また、1年生では地域の方を学校に招いて、昔の遊びを覚えてもらい、その後、給食と一緒に食べ地域の方と触れ合った。
取組の成果と課題(評価結果)	・県学習到達度調査の本校の結果及び県平均との比較。 4年国語正答率58.9%。県平均より6.0ポイント上。 4年算数正答率68.4%。県平均より3.5ポイント上。 5年国語正答率61.9%。県平均より4.6ポイント上。 5年算数正答率65.7%。県平均より3.0ポイント上。 5年理科正答率67.4%。県平均より3.8ポイント上。 ・「毎日の勉強がわかる」と回答した児童の割合は91.2%あり、目標は達成できた。	・「学校が楽しい」と回答した児童の割合は96.0%である。互いの良さを認め合え、安心できる学級づくりの取組が反映された結果であると考ええる。 ・学期に1回実施している「いじめアンケート」も活用しながら、児童間のトラブルはその都度丁寧に対応し、解決をしてきた。	・R5年度とR6年度の「体力テスト」の結果から、R6年度の1,2,3年は前年度より高い傾向にある。今年度高学年(4,5,6年)シャトルラン平均Tスコア46.3。 ・児童アンケート項目「体育の時間が楽しい」で肯定的回答92.4%になった。	・保護者アンケートで「学校の様子をわかりやすく伝えていいる」と回答した保護者の割合は85.4%であり、目標に達した。 ※昨年度:81.3%
改善方法(A)	・各教科の正答率の低い設問については、現状を踏まえながら授業改善を行ったり、復習を行ったりする。	・好ましい人間関係を築き、安心して学習に取り組める学級づくりを行う。 ・いじめは起こるものという認識のもと、早期に発見・対応し、いじめ解消率100%になるよう努める。	・今後も授業を工夫したり、環境を整えたりすることで体力向上に努める。	・今後も学校・学年・学級通信・HP等を通して学校の様子を積極的に発信するように努める。 ・1年生や2年生の学習で地域の方と触れ合う機会を継続して設ける。

3 その他の課題

--